

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 5月 22日

部局等名	環境部	課かい名	環境政策課	推進責任者氏名	柳下 元邦
------	-----	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	小さなメモ用紙などを入れる封筒も配置し、なるべく「ごみ」として出さずに「リサイクル」できるよう課内で努めることができた。また、給湯室のブラ捨て場について、C-EMSレターを通じ庁内へ適正分別を働きかけることができた。
	具体的内容	古紙類やプラスチック類などの分別を徹底し、リサイクルできるものを増やし、ゴミの総量を減らします。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	月に一日の定時退庁は、ひと月だけできなかったものの、大半は実施することができ、執務室を17時半には消灯することができた。
	具体的内容	月に一日以上は、全員で定時退庁をする日を調整し、実行に移して夜間電気の使用削減に努めます。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	スリープモードの徹底は課内で実践することができ、さらに、帰庁時はPCのコンセントを抜くことで待機電力の削減も行うことができた。
	具体的内容	打合せや外出などの離席時は、PCの天板を閉じる・スリープモードを徹底し消費電力を削減します。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

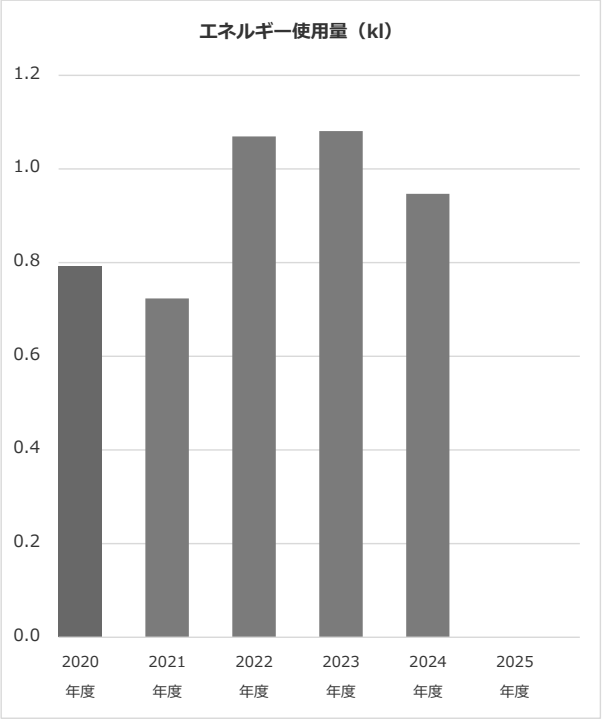
実績	前年度比	-12.4 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	電気使用量自体は、42kwhと微増したものの、エネルギー使用量(GJ)は係数の変更により下がった。脱臭空気清浄機は、人感センサーでスイッチが入る仕様になっているため、利用者が多かったと考えられる。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	30.7	28.1	41.5	41.9	36.7	
エネルギー使用量(kl)	0.8	0.7	1.1	1.1	0.9	0.0
対前年度比(%)	—	-8.6%	47.8%	1.1%	-12.4%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	南口マナースペース	計画	煙の吸引力を低下させないため、定期的にフィルターの交換を行い、併せて空気清浄機に異常がないか確認をする。
		実績	週に1回フィルター交換を行い、簡易確認も実施した。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	課内ミーティングで、取組目標とそれぞれの具体的な取り組みの共有を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	■ 実施	課内ミーティングで、取組目標とそれぞれの具体的な取り組みの共有を図った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和 7 年 5 月 22 日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課内で常にエコオフィス行動ルールを意識し仕事に取り組むことができた。 課で唯一管理している南口マナースペースについては、週に1回のプレフィルター交換を必ず行った。 その他、全庁に向けての「省エネ」や「ごみ分別の徹底」の発信を行うことができたことで、C-EMS所管課として一定の役割を果たすことができた。	他課の模範となるように課職員一丸となってエコオフィス行動ルールに基づいた取組目標を達成しなければならない。南口マナースペースについて、梅雨など非常に湿度が高い時期はフィルターの吸込みが悪くなるため、週に1回のプレフィルター交換の回数を増やすといった対策を講じていきたい。 また、職員の環境意識のさらなる醸成を目的に、引き続き発信を続けていきたい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月26日

部局等名	環境部	課かい名	環境保全課	推進責任者 氏名	添田 裕巳
------	-----	------	-------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	マイボトル・マイカップの持参や本庁舎2階にあるウォーターサーバーの利用を積極的に呼びかけることでプラスチックごみ等の削減に努めた。今後は古紙やびん・缶・ペットボトル等の分別排出・リサイクルの徹底、ファイルや封筒は繰り返し使用(リユース)することで廃棄物の削減を推進したい。
	具体的内容	廃棄物の減量 マイボトルやマイカップを利用し、ピンカンペットなど廃棄物の削減に努める。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	夏はクールビズに対応した服装を着用することを推進することができました。今後は公用自転車を積極的に利用することや公用車を利用する際は走行ルート合理化を行う事でガソリン使用量の削減に努めたい。
	具体的内容	電気・燃料使用量の削減 TPOに合わせ、クールビズ・ウォームビズに対応したアロハやポロシャツなどの服装を着用し、各自が快適に過ごせるように工夫する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	可能な限り、チャット等を活用したデータでの共有を図り、印刷やコピーを最低限度とし、積極的にペーパーレス化を図ることができました。今後は課で発行する印刷物や刊行物等をホームページ等の活用等を行うことで、電子化を推進していきたい。
	具体的内容	紙の削減 ペーパーレス化の推進や裏紙の再利用により紙の削減に努めます。通知などプリントアウトが必要なものについては印刷前に必ず印刷プレビューで確認し、ミスプリを防止する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設))を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

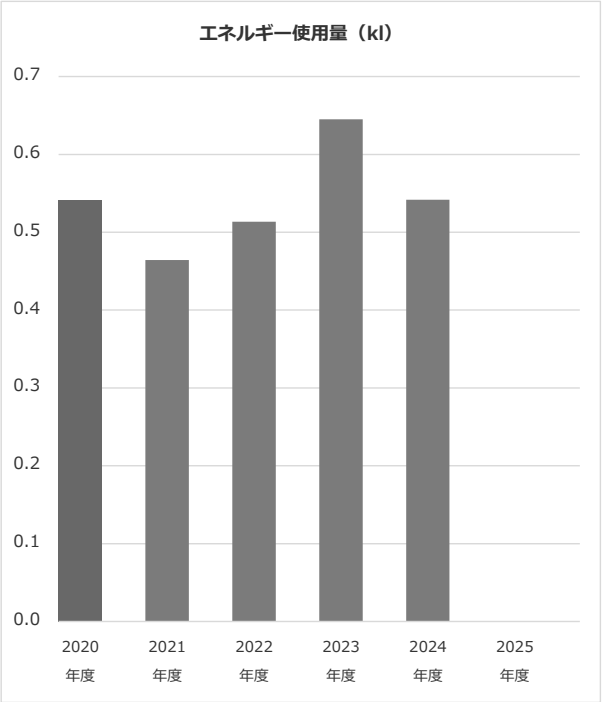
実績	前年度比	16.0 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	公衆便所内の照明について、ポスターでの啓発や蛍光灯のLED化などを実施し、節電を行う事が出来た。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	21.0	18.0	19.9	25.0	21.0	
エネルギー使用量(kl)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.0
対前年度比(%)	—	-14.3%	10.6%	25.6%	-16.0%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	公衆便所(6箇所)	計画	利用者にトイレの節水、節電のお願いを掲示。蛇口を自動止水栓に交換した効果を検証する。
		実績	前年度比年間約10%の上水道使用量削減を達成することができました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	書面により実施。G-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	書面により実施。法令順守を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	書面により実施。業務計画や業務内容を確認した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和7年5月26日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取り組み目標について課全体で共有し、実施に努めることができました。特にエネルギー使用量の削減や資源の有効利用については、ロゴチャット等を活用したペーパーレス化などいろいろなアイデアによって省エネ意識が向上していると感じている。	事務効率の向上や事務の見直しに努めることで、環境負荷の低減を推進を目指していく。引き続き、職員一人一人の意識を高めることで、前例にとられず、新たな省エネの取組を行動を実践していきたい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	環境部	課かい名	資源循環課	推進責任者氏名	小俣 昇士
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	個人情報記載された書類についてもシュレッダー処理し、使用済み紙類の資源化を徹底した。
	具体的内容	個人情報を含む書類を焼却処理せず、シュレッダー処理することにより、もやせるごみの量を削減します。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	資料作成は両面印刷や集約印刷を活用して使用枚数を抑え、確認等で使用する際は裏紙を活用し資源の有効利用を図った。
	具体的内容	両面印刷、集約印刷、裏紙の再利用を推進します。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	荷物等の運搬がない場合は、上下3階の移動はエレベーターでなく階段を利用した。
	具体的内容	エレベーターの利用を控え上下3階は階段を利用します。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

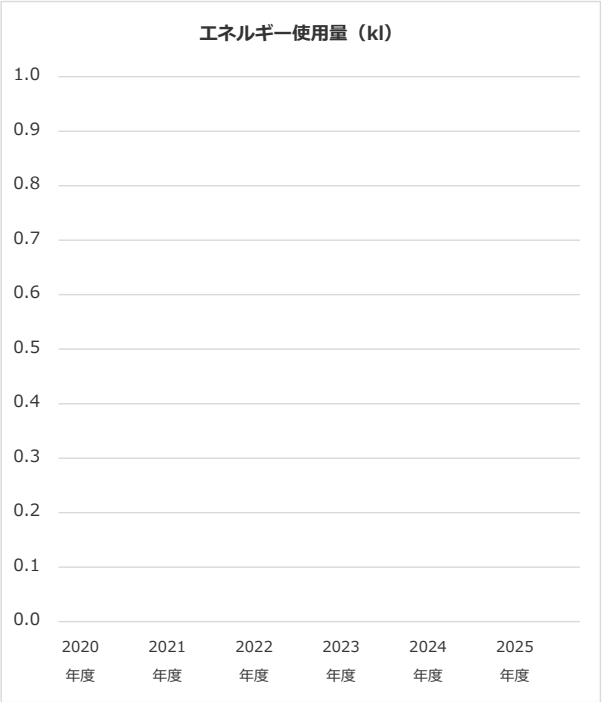
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月3日に実施、C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	廃棄物処理は各主管課、回収調整とマニフェスト管理は資源循環課にて実施のため、様式2は資源循環課にて作成し各課に参考送付した。
新任・異動者研修	■ 実施	10月8日に実施(対象者1名、全員参加) 課内ミーティングにおいてC-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☒ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
計画に掲げたそれぞれの目標について、順調に取り組みを進めることができた。特に資源の有効利用と廃棄物の削減については、全庁の模範となるよう努めた。	資源の有効利用と廃棄物の削減をより一層推進するため、引き続き模範となるよう取り組みを進めるとともに、全庁的に周知啓発を行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7 年 5月 20日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品を所定の棚で在庫管理し、計画的な購入を実施しました。
	具体的内容	事務用品は計画的に購入し、適切な在庫管理を図ります。また、紙ファイル等の再利用を徹底します。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	昼食後は必ず消灯し、照明のエネルギー使用量を最低限に抑えました。
	具体的内容	昼休みに不必要な照明を消灯します。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	セキュリティ上支障のない範囲で、事務室に近接する窓等を開放し、自然換気による空調エネルギー使用量の低減を実施しました。
	具体的内容	中間期(春季・秋季)は対角線上に窓やドアを開放し、自然換気を行います。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

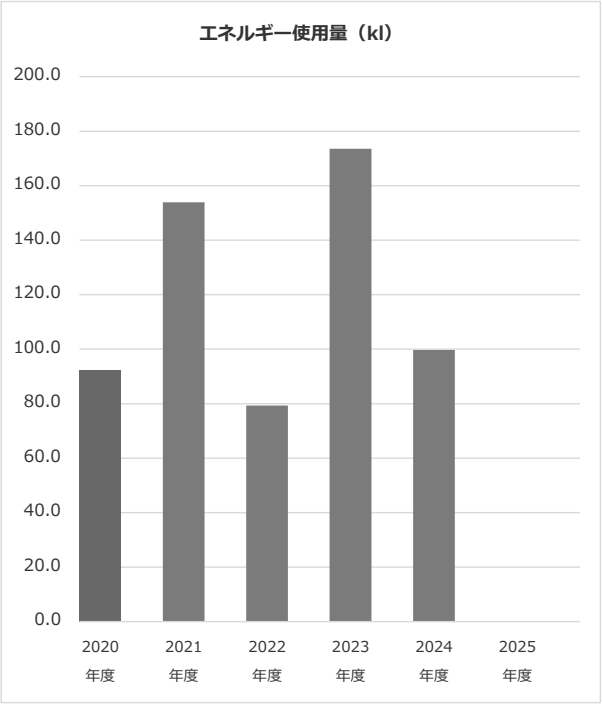
実績	前年度比	-42.6 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	2024年度は発電機の隔年点検を実施しない年度であり、買電量を低減できたため。また、焼却炉、発電機ともに安定稼働し、ガス使用量、買電量を低減できたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	3578.7	5965.7	3074.9	6725.3	3863.0	
エネルギー使用量(kl)	92.3	153.9	79.3	173.5	99.7	0.0
対前年度比(%)	—	66.7%	-48.5%	118.7%	-42.6%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境センター(旧清掃)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	フィルターの清掃や自主点検を実施しました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月11日に実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月11日に実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	10月に異動者が1人いたため、10月18日に研修を実施。所属で掲げる目標や取り組みについて共有した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和7 年 5月 20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
焼却施設の隔年点検や安定稼働の影響に因り、買電量が低下し、省エネの目標は達成できている。	今後においても引き続き職員の環境配慮の意識啓発をはかり、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電等を心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 5月 20日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	----------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	在庫管理を行い、事務用品を計画的に購入しました。書類については持ち手用では裏紙利用(再利用)印刷、配布用については両面印刷やページ集約など行い、廃棄物の発生抑制に努めました。また、収集車両についてもグリスアップなどを職員自らが実施し、車両を安全に長期で使えるよう取り組みました。
	具体的内容	物品及び備品の修繕利用に努め、使用期間の長期化を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	各部署との連絡や打ち合わせなど複数の案件を同日に設定するなどし、公用軽自動車の使用を最低限に抑えました。
	具体的内容	所内と本庁との事務連絡の効率化により公用軽自動車使用節減を推進します。(前年比1%減以上)	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	建屋については、使用しない部屋は積極的に消灯しました。また、パッカー車については窓を開けエアコンの使用を抑えるなど、建屋、車両ともにエネルギー使用の低減に努めました。
	具体的内容	冷暖房使用時間の節減及び使用していない照明の一部を節減します。(前年比1%以上)	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

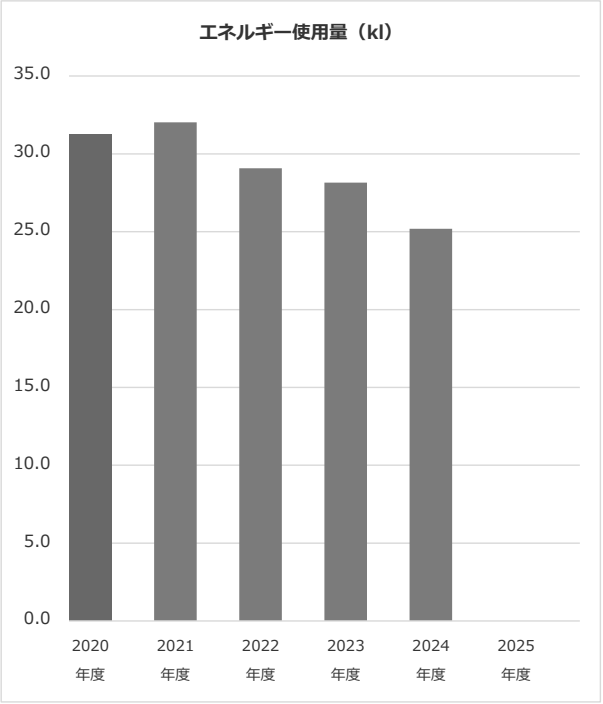
実績	前年度比	-10.5 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	2024年度は業務担当1階事務室、2階ホール(洋室)の既設照明器具を撤去しLEDへ変更したことなど、省エネに取り組んだため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1211.7	1241.0	1126.8	1091.0	976.2	
エネルギー使用量(kl)	31.3	32.0	29.1	28.1	25.2	0.0
対前年度比(%)	—	2.4%	-9.2%	-3.2%	-10.5%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター(旧収集事務所)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	フィルターの清掃や自主点検を実施しました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月21日実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月21日実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	10月に異動者が2人いたため、10月9日に研修を実施。所属で掲げる目標や取り組みについて共有した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和7年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
一例として、ボイラー管理時間の徹底(アラーム対応等)、軽油等燃料費の日々の推移経過などを職員がしっかりと意識し、共有できていることが、全体的なエネルギー消費低減に寄与できていると評価している。	職員一人ひとりが意識を高めていくが大切であると考えている。いい取組は継続しながら、互いに声を掛け合い、無駄のない公務執行を促していく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 5月 20日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター	推進責任者氏名	富田 雄也
------	-----	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	処分場の剪定枝はリサイクル業者へ引き渡し、リサイクルを促進しました。また、消耗品を倉庫で一括管理し、計画的な購入を実施した。
	具体的内容	剪定枝をリサイクル施設に搬入し、リサイクルを促進します。また、消耗品は計画的に購入し、適切な在庫管理を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	昼光利用が可能な場合や不在時において、事務室照明の消灯を実施した。
	具体的内容	不必要な照明を消灯します。	
3	取組項目	E. その他	水分等の摂取に留意するとともに空調服を導入し、熱中症対策を実施した。
	具体的内容	夏季の屋外作業時は定期的に水分・塩分を摂取し、熱中症予防を推進します。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

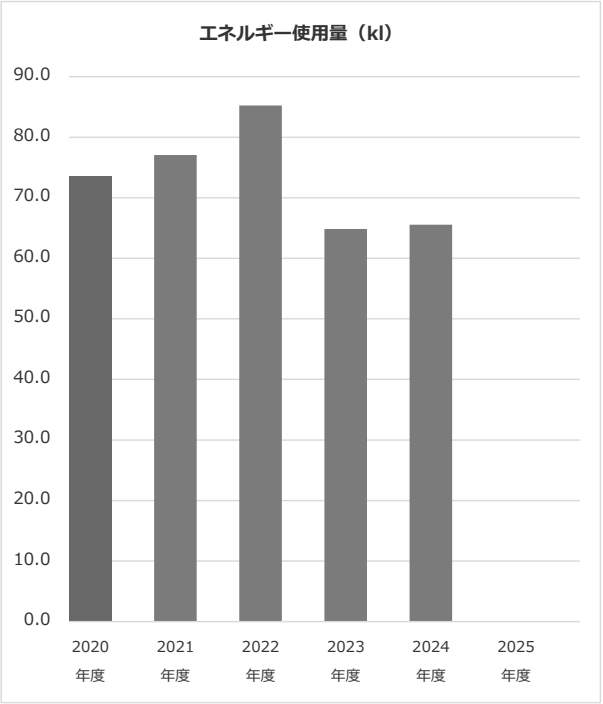
実績	前年度比	1.0% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	雨量が多かったことで揚水ポンプ稼働による消費電力量が増えたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	2852.5	2986.2	3304.0	2514.0	2540.3	
エネルギー使用量(kl)	73.6	77.0	85.2	64.9	65.5	0.0
対前年度比(%)	—	4.7%	10.6%	-23.9%	1.0%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター (堤十二天最終処分場)	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	フィルターの清掃や自主点検を実施しました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月11日に実施。G-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月11日に実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 7 年5月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
屋外作業も多い中で体調を崩す作業員も無く、空調服を導入するなど適切な体調管理が行われている。また、降雨量が前年より多いため、揚水ポンプ稼働による影響で省エネの目標達成はできなかった。	今後においても、引き続き職員の環境配慮の意識啓発を図り、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電等に心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。□